

- 問1 平安時代末期に白河上皇によって始められた「院政」という政治体制の説明として、当時の政治の仕組みの変化をふまえた記述として最も適切なものはどれですか。 (2018年 神奈川県公立入試 類似)
1. 地方で成長した武士が、京都の朝廷から政治権力を完全に奪い、鎌倉に独自の政府を組織した。
 2. 天皇の母方の親戚である外戚が、天皇に代わって全ての政務を決定する摂関政治の形式をより強化した。
 3. 坂上田村麻呂が征夷大將軍に任命され、東北地方を平定することで天皇による全国支配を完成させた。
 4. 藤原氏が摂政や関白として権力を独占する仕組みを抑えるため、天皇の位を退いた上皇が政治の主導権を握った。
- 問2 平安時代の建築や彫刻は、当時の信仰と深く結びついていました。当時の代表的な建造物の特徴を説明した資料において、内部に阿弥陀如来像を安置し、壁画などで極楽浄土の様子を再現しようとした藤原氏ゆかりの建物は何ですか。 (2019年 静岡県公立入試 類似)
1. 法隆寺五重塔
 2. 鹿苑寺金閣
 3. 平等院鳳凰堂
 4. 東大寺大仏殿
- 問3 桓武天皇の時代から、のちの鎌倉幕府や江戸幕府の時代に至るまでの政治の拠点の変遷を考えたとき、平安京への遷都に関連する記述として正しいものを選びなさい。 (2026年 岡山県公立入試 類似)
1. 桓武天皇は、それまでの都であった長岡京から、山や川などの自然の防御に優れ、水運の便も良い平安京へ都を移した。
 2. 桓武天皇は、平氏による専制政治を打破するために、源頼朝と協力して平安京の造営を進めた。
 3. 桓武天皇は、海外貿易の利益を独占するために、平安京の中に管領と呼ばれる役職を置いて商業を統制した。
 4. 桓武天皇は、六波羅探題を設置して京都の監視を強め、西国の武士を統制するために平安京を利用した。
- 問4 平清盛が推進した日宋貿易に関する記述として、その背景や具体的な取り組みについて説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2024年 石川県公立入試 類似)
1. 平氏は瀬戸内海の航路を掌握し、現在の神戸市にある大輪田泊を改修することで、宋の大型船が直接入港できる体制を整えた。
 2. 平氏は足利義満が始めた勘合貿易を参考に、倭寇による密貿易を防ぐための証明書を発行して、宋との公的な交易を独占した。
 3. 平氏は唐の制度を取り入れるために大輪田泊を整備したが、菅原道真の建議によって貿易は一時中断されることとなった。
 4. 平氏は新羅や高句麗といった朝鮮半島の諸国との交易を重視し、日本海側の港を拠点として武器の輸出を盛んに行った。
- 問5 12世紀後半、平清盛は中国の宋（北宋・南宋）との貿易を積極的に進めるため、現在の神戸市にあたる瀬戸内海の要所に港を修築しました。この時、大型船が直接入港できるように整備された港の名称を次の中から選びなさい。 (2019年 福島県公立入試 類似)
1. 堺
 2. 大輪田泊
 3. 博多
 4. 長崎
- 問6 平安時代末期に政権を握った平清盛は、大陸との交流を重視しました。彼が経済的な基盤を固めるために推進した「日宋貿易」の説明として正しいものはどれか。 (2022年 千葉県公立入試 類似)
1. 倭寇と正規の貿易船を区別するために「勘合」と呼ばれる札を用い、明との間で貿易を行った。
 2. 瀬戸内海の航路や、現在の神戸市にあたる兵庫の港（大輪田泊）を整備し、宋の商船を招き入れた。
 3. 長崎などの港を拠点に、ポルトガル人やスペイン人と火縄銃や銀の取引を行った。
 4. 將軍から海外渡航の許可証である「朱印状」を与えられた商人が、東南アジア諸国と貿易を行った。
- 問7 平安時代初期、最澄が唐から伝えた仏教の宗派と、その修行の拠点となった場所の組み合わせとして正しいものを次の中から選びなさい。 (2024年 愛媛県公立入試 類似)
1. 天台宗 — 比叡山延暦寺
 2. 真言宗 — 比叡山延暦寺
 3. 真言宗 — 高野山金剛峯寺
 4. 天台宗 — 高野山金剛峯寺
- 問8 日本の歴史事項をまとめた年表において、11世紀の後半に「白河上皇が位をゆづった後も政治を行う体制を始めた」という記述がある場合、その政治体制の説明として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 藤原氏が娘を天皇の后にすることで、外戚として実権を握る政治
 2. 將軍が幕府を開き、守護や地頭を任命して全国の土地を支配する政治
 3. 律令に基づき、中央から派遣された国司が地方の行政を直接担当する政治
 4. 天皇が位を退いて上皇となり、摂政や関白の影響を受けずに自ら行う政治
- 問9 平安時代、藤原氏が天皇の幼少期には「摂政」、成人後には「関白」という職に就き、政治の実権を握った政治体制を何と呼びますか。 (2023年 岩手県公立入試 類似)
1. 摂関政治
 2. 親政
 3. 院政
 4. 執権政治
- 問10 平治の乱で源氏の源義朝らを破り、武士の政権を確立した平清盛が行った経済政策について述べた文として、背景や目的が正しく説明されているものはどれですか。 (2020年 山形県公立入試 類似)
1. ヨーロッパの文化や技術を取り入れるため、ポルトガルやスペインの船を長崎などの港に招いて南蛮貿易を行った。
 2. 明との正式な貿易を行うため、勘合と呼ばれる札を持たせた船を派遣し、倭寇との区別を明確にした。
 3. 宋との貿易を盛んにするため、瀬戸内海の航路を整備し、大輪田泊という港を改築して経済基盤を固めた。
 4. 東南アジアにまで商圏を広げるため、公印が押された渡航証を商人に与え、朱印船による貿易を保護した。
- 問11 国風文化における貴族の生活様式について、日本の気候や風土に合わせて発達した住居の形式を何と呼びますか。 (2015年 富山県公立入試 類似)
1. 高床住居
 2. 校倉造
 3. 書院造
 4. 寝殿造
- 問12 平安時代中期、息子の頼通とともに摂関政治の全盛期を築き、自身の栄華を「この世をば わが世とぞ思ふ 望月の 欠けたることもなしと思へば」という歌に詠んだ人物は誰か。 (2019年 北海道公立入試 類似)
1. 藤原道長
 2. 藤原良房
 3. 藤原頼通
 4. 藤原鎌足
- 問13 平安時代末期の東北地方における政治情勢と奥州藤原氏の関わりについて述べた文として、正しいものはどれか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)
1. 藤原清衡が平泉を拠点に陸奥国の支配を確立し、金や馬などの特産品を通じて独自の勢力を築いた。
 2. 平氏が日宋貿易の拠点を東北に移し、平泉を国際的な貿易港として整備することで富を蓄えた。
 3. 足利氏が源氏の血筋を主張して東北地方の武士をまとめ、平泉を拠点に幕府を開いた。
 4. 北条氏が執権として実権を握り、平泉に東北地方を統括するための政庁を設置して支配を広げた。